



かがやき

西橋北小学校
学校だより
No.33

平成 24 年 1 月 20 日

3学期初めの授業風景

(文責:後藤 達人)

3学期が始まり、10日ほど経ちました。各学級では、学年の目標を達成するために、さまざまな教育活動を展開しています。特に今年度は、「言語力」の育成に力を入れて、授業を進めてまいりました。表現力やコミュニケーション力を育てる基になるものが、言語力であると考え、教職員研修として実践を重ねてきました。2月の授業参観では、お子さんの言語力が、どの程度身に付いてきているのか、実際に確かめていただきたいと思います。



落ち着いて、活発な授業がされるときと、そうでないときもあります。また、西橋北小学校の子どもたちは、全体的に、大勢の人に見られる授業は苦手になっています。何となく恥ずかしいようです。

左の写真は、4年生の授業で、自作の詩の発表会をしているところです。自分ひとりで、みんなの前で、大きな声を出して発言することが、まだまだ十分ではありませんが、子どもたちは、恥ずかしがりながらも、一生懸命取り組もうと努力します。いつかきっと、こ

の努力が実を結ぶ日がやってくるはずです。だから、子どもたちには、与えられた学習課題に、真剣に、積極的に、意欲を持って取り組んでほしいと願っています。

右の写真は、2年生が詩の暗唱に取り組んでいる場面です。全員が大きな声で、元気よく、「きっぱりと冬が来た・・・」と唱えています。

1月の題材は、高村光太郎の「冬が来た」です。難しい言葉もあり、イメージをつかみにくいと思いますが、子どもたちは、しっかりと声に出し、覚えようと努力しています。言語力の育成とともに、脳の活性化も期待できます。校長室へやってきて、張り切って詩の暗唱をする子どもたちを見ることも、私のお気に入りの時間となっています。どうぞご家庭におかれましても、子どもたちの普段の取組を共有していただき、子どもたちのがんばりを認めていただきたいと思います。



この写真は、1年生のたこ作りの様子です。こんなにも大きなたこに、自分で、自分が気に入った絵を描いていきます。子どもたちの思いが、どんどん広がっていく瞬間です。

1,2年生では、生活科の時間で、自分や身の周りの事柄から、さまざまな気づきを得て、それを自分なりの表現でまとめていく学習を行います。そこでも、やはり言語力が大切になってくるわけです。

学校では、子どもたちに確かな学力をつけるため、全教職員が努力を重ねてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

図書室のようす

学校には、約1週間に1回(本年度は月曜日)、図書館司書の生貝さんが来てくださいます。蔵書の整理や図書室の整備はもちろん、読み聞かせやブックトーク、パネルシアター等で子どもたちにかかわっています。



図書室では、本を読みに来た子どもたちに話しかけたり、本探しの支援をしたりして、子どもたちに優しく接していただいています。

また、図書室前の掲示板には、楽しく、季節感のある掲示物とともに、今月のお知らせやテーマ等を分かりやすく掲示してもらっています。

学校にお越しの際には、図書室にも足を運んでいただき、図書館経営の様子にもふれていただきたいと思います。



校内掲示板めぐり

新年を迎え、各学年の掲示板にも新しい作品が展示され始めました。いつもご案内しているとおり、掲示板めぐりは、本当に美術館めぐりに匹敵します。その時々の子どもの学習の様子が、目に浮かんでくるのです。これを見に来るだけでも、価値があると思います。



5年生の作品

5年生は、多色刷りに挑戦です。題材は、今年の干支である「辰・龍」です。見事な構図や色使いが、見る者に感動を与えます。とても力強く、立派な作品が数多く展示されています。

3年生は、のこぎりや金づちを使った木工にチャレンジ。さぞ苦勞しただろうと思われる作品が多くあります。きっと、木工道具は、初めてだった子もいるのかな?どれも力作です。



3年生の作品



1年生の作品

1年生は、紙粘土での造作を楽しみました。自分の思いで、それぞれの「おばけ」が誕生していました。たいへんかわいらしくできていて、思わず見とれてしまう「おばけちゃん」がたくさんいます。作品には、作った人の思いがよく表れるものですね。豊かな発想を持って、これからも励んでほしいものです。